

2025年の北陸地方の天候経過

ー北陸地方の天候の特徴と気象トピックスー

- ◆ 2025年は、2023年（1位）・2024年（2位）に次ぐかなりの高温、2023年に次ぐ記録的な多照。
主な要因として、夏から秋の前半にかけてラニーニャ現象時に近い海面水温の分布状態だったため日本付近で偏西風が平年より北を蛇行しやすく、また日本付近の海面水温や地球温暖化の影響による大気温度が顕著に高かったことなどが考えられる。
 - ◆ 冬（2024年12月～2025年2月）は、冬型の気圧配置や低気圧の影響で、かなりの多雨・寡照。気温と降雪量は平年並。
 - ◆ 春（3月～5月）は、気温は変動の大きい時期があった。高温・寡照。降水量は平年並。
 - ◆ 夏（6月～8月）は、日本付近への太平洋高気圧の張り出しが早く、7月にかけて勢力が強かった。夏としては、記録的な高温・記録的な多照で、降水量は平年並。
 - ◆ 春から盛夏期に向かう季節進行がかなり早く、梅雨入りと梅雨明けは記録的に早かった。
 - ◆ 秋（9月～11月）は、季節進行が遅く、かなりの高温・かなりの多雨。高気圧に覆われやすい時期があり、多照。
 - ◆ 12月は、冬型の気圧配置は長続きせず、高温・多照・少雪。降水量は平年並。
- ※北陸地方平均とは、北陸地方にある気象官署及び特別地域気象観測所（9地点）ごとの平年差（比）を平均したものです。

☆冬（2024年12月～2025年2月）

12月と2月は冬型の気圧配置が続きやすかった。12月はかなりの多雨となったが降雪は山沿いや山地が中心で、2月は2度の寒波で大雪となった時期があり降雪量はかなり多かった。

1月は冬型の気圧配置が長続きせず、1946年の統計開始以降、1948年（140%）に次ぐ記録的な多照となったが、低気圧の影響で降水量は多かった。

表：3か月平均（合計）と月別の平均気温・降水量・日照時間・降雪量の平年差（比）と階級

北陸地方平均	12～2月	12月	1月	2月
平均気温平年差	-0.2℃	-0.5℃	+0.8℃	-0.8℃
階級	平年並	低い	高い	低い
降水量平年比	129 %	131 %	125 %	131 %
階級	かなり多い	かなり多い	多い	多い
日照時間平年比	95 %	66 %	139 %	87 %
階級	少ない	かなり少ない	かなり多い	少ない
降雪量平年比	113 %	27 %	48 %	237 %
階級	平年並	少ない	少ない	かなり多い

☆春（3月～5月）

天気は数日周期で変化したが、低気圧が北日本を通過し、高気圧が日本の南に張り出すなど、北陸地方には暖かい空気が流れ込みやすかった。このため気温は高かったが、低気圧や前線の影響で日照時間は少なかった。気温の変動の大きい時期があり、3月27日には日本海の低気圧に吹き込む南風でフェーン現象が発

生し、高田では3月としては北陸地方で初めての真夏日となる30.0℃を観測した。

表：3か月平均(合計)と月別の平均気温・降水量・日照時間の平年差(比)と階級

北陸地方平均	3～5月	3月	4月	5月
平均気温平年差	+ 0.8℃	+ 1.3℃	+ 0.8℃	+ 0.4℃
階級	高い	高い	高い	平年並
降水量平年比	89 %	90 %	82 %	93 %
階級	平年並	平年並	少ない	平年並
日照時間平年比	94 %	103 %	88 %	93 %
階級	少ない	平年並	少ない	平年並

☆夏(6月～8月)

夏を通じて偏西風が平年より北を蛇行し、6月から7月は本州付近への太平洋高気圧の張り出しが早く、また勢力も強かった。梅雨前線の活動は弱く、北陸地方の梅雨入り・梅雨明け(いずれも1951年統計開始)は、梅雨入りは5月22日ごろで1956年と並び早い方の1位となり、梅雨明けは6月29日ごろで最も早かった(これまで最も早い梅雨明けは2001年7月2日ごろ)。

平年の梅雨入りから梅雨明けの期間に晴れて暑い日が多く雨の日が少なかったため、北陸地方の夏は、1946年の統計開始以降で気温が最も高く(これまでの最高は2023年の+2.1℃)、日照時間は最も多かった(これまでの最多は1946年の134%)。また、7月の降水量は8%で最も少なかった(これまでの最小は1978年の15%)。

8月上旬は偏西風が平年より顕著に南を蛇行し、前線や前線上の低気圧の影響を受けやすかった。石川県で線状降水帯が発生するなど大雨となった所があり、8月上旬の降水量は1946年の統計開始以降で最も多かった(560%)。このため8月の降水量はかなり多かった。

表：3か月平均(合計)と月別の平均気温・降水量・日照時間の平年差(比)と階級

北陸地方平均	6～8月	6月	7月	8月
平均気温平年差	+ 2.3℃	+ 1.9℃	+ 3.6℃	+ 1.6℃
階級	かなり高い	かなり高い	かなり高い	かなり高い
降水量平年比	96 %	113 %	8 %	193 %
階級	平年並	平年並	かなり少ない	かなり多い
日照時間平年比	140 %	117 %	190 %	121 %
階級	かなり多い	多い	かなり多い	多い

表：梅雨入り・明けと梅雨の時期の降水量

地方名	梅雨入り	梅雨明け	梅雨の時期の降水量平年比 (注2)
	2025年(注1) (平年)	2025年(注1) (平年)	
北陸	5月22日ごろ(-)* (6月11日ごろ)	6月29日ごろ(-)* (7月23日ごろ)	50% (-)*

(注1) 梅雨の入り・明けには平均的に5日間程度の遷移期間があり、その遷移期間のおおむね中日をもって「〇〇日

ごろ」と表現した。記号の意味は、(+)＊：かなり遅い、(+)：遅い、(0)：平年並、(-)：早い、(-)＊：かなり早い、の階級区分を表す。

(注2) 北陸地方にある気象官署及び特別地域気象観測所(9地点)の観測値を用い、梅雨の時期(6～7月)の平均降水量を平年比で示した。記号の意味は、(+)＊：かなり多い、(+)：多い、(0)：平年並、(-)：少ない、(-)＊：かなり少ない、の階級区分を表す。

☆秋(9月～11月)

秋は、前半中心に偏西風は平年より北を蛇行し、北陸地方では暖かい空気に覆われやすく、気温はかなり高かった。天気は数日周期で変化したが、低気圧や前線の通過で大雨となった時期があったため降水量はかなり多く、また、秋のはじめと終わりは高気圧に覆われやすく日照時間は多かった。

表：3か月平均(合計)と月別の平均気温・降水量・日照時間の平年差(比)と階級

北陸地方平均	9～11月	9月	10月	11月
平均気温平年差	+1.4℃	+2.6℃	+1.3℃	+0.3℃
階級	かなり高い	かなり高い	かなり高い	平年並
降水量平年比	126%	157%	135%	96%
階級	かなり多い	多い	多い	平年並
日照時間平年比	107%	115%	82%	131%
階級	多い	多い	少ない	かなり多い

☆12月

移動性高気圧に覆われて晴れた日もあり、天気は周期的に変化した。冬型の気圧配置が強まる時期はあったが長続きせず、寒気の影響は小さかった。

表：12月の平均気温・降水量・日照時間・降雪量の平年差(比)と階級

北陸地方平均	平均気温平年差 階級	降水量平年比 階級	日照時間平年比 階級	降雪量平年比 階級
12月	+1.3℃ 高い	102% 平年並	138% 多い	36% 少ない

☆年

2025年は、夏から秋の前半にかけて日本付近の偏西風が平年より北寄りを流れやすく、暖かい空気に覆われやすかった。春から盛夏期にかけての季節進行が早かったとともに秋への季節進行は遅く、太平洋高気圧に覆われ、晴れて暑くなる日が多かった。また、移動性高気圧に覆われやすい時期もあり、このため2025年は、1946年の統計開始以降、日照時間は2023年(1位)に次いで多く※¹、気温は2023年(1位)、2024年(2位)に次いで高かった※²。

※1：日照時間の多い方の1位は119%(2023年)

※2：平均気温の高い方の1位は+1.5℃(2023年)、2位は+1.4℃(2024年)

また、1月の低気圧や2月の寒波、8月上旬から秋にかけて前線や低気圧などの影響を受け、2025年の降水量は多かった。

表：年の平均気温・降水量・日照時間の平年差(比)と階級

北陸地方平均	平均気温平年差 階級	降水量平年比 階級	日照時間平年比 階級
年	1.3℃ かなり高い	109% 多い	115% かなり多い

表 1 2025年 北陸地方気候表

地 点 名	平均気温(平年差) 階級 (℃) (℃)	降水量 (平年比) 階級 (mm) (%)	降水日数 ≥1mm	日照時間(平年比) 階級 (h) (%)
新 潟	15.1 (+1.2) +*	2200.5 (119) +*	167	1803.8 (110) +*
相 川	15.4 (+1.3) +*	1876.0 (119) +	165	1784.4 (110) +*
高 田	15.0 (+1.1) +*	3125.0 (110) +	174	1848.1 (116) +*
富 山	15.8 (+1.3) +*	2417.5 (102) ○	165	1906.1 (116) +*
伏 木	15.5 (+1.3) +*	2387.0 (105) ○	168	1944.6 (118) +*
金 沢	16.3 (+1.3) +*	2765.0 (115) +	173	1991.9 (116) +*
輪 島	15.1 (+1.3) +*	2634.5 (122) +*	174	1798.0 (114) +*
福 井	16.1 (+1.3) +*	2175.5 (95) ○	165	1932.6 (117) +*
敦 賀	16.8 (+1.2) +*	2159.0 (98) ○	157	1889.4 (118) +*

東日本

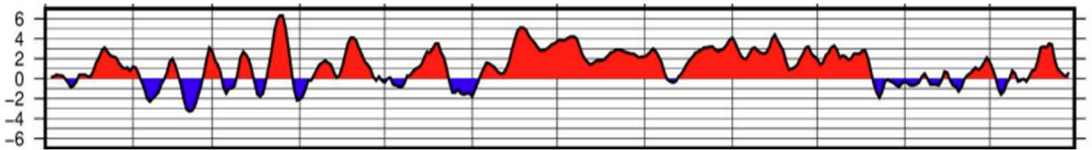


図 1 東日本の平均気温平年差(5日移動平均 単位℃)

東日本
日本海側

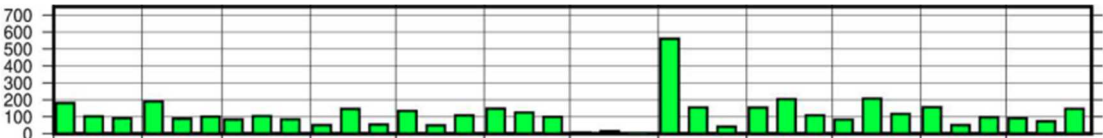


図 2 北陸地方（東日本日本海側）の降水量平年比(旬別 単位%)

東日本
日本海側

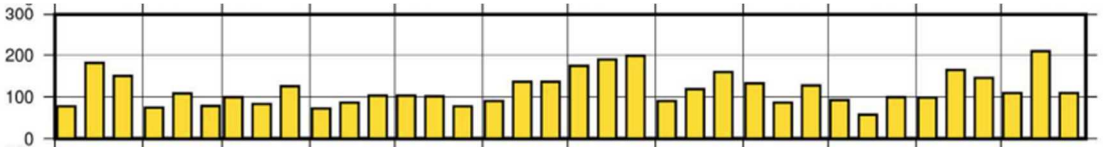


図 3 北陸地方（東日本日本海側）の日照時間平年比(旬別 単位%)

表2 2025年の年別で順位を更新した記録(3位以内) 注) =はタイ記録を示す。

年平均気温高い方からの順位更新

順位	地点名	平均気温 ℃	平年差 ℃	これまでの最高 ℃ (西暦年)	開始年	平年値 ℃
2	輪島	15.1 =	+1.3	15.2 (2023)	1929	13.8
	相川	15.4	+1.3	15.7 (2023)	1911	14.1
3	新潟	15.1	+1.2	15.4 (2023)	1881	13.9
	金沢	16.3	+1.3	16.6 (2023)	1882	15.0
	伏木	15.5	+1.3	15.7 (2023)	1883	14.2
	富山	15.8	+1.3	16.1 (2023)	1939	14.5
	高田	15.0	+1.1	15.2 (2023)	1922	13.9
	福井	16.1	+1.3	16.4 (2024)	1897	14.8
	敦賀	16.8	+1.2	17.1 (2024)	1897	15.6

年間日照時間多い方からの順位更新

順位	地点名	日照時間 h	平年比 %	これまでの最大 h (西暦年)	開始年	平年値 h
2	金沢	1991.9	116	2029.8 (2023)	1891	1714.1
	伏木	1944.6	118	2012.9 (2023)	1893	1650.1
	富山	1906.1	116	1979.1 (2023)	1939	1647.2

※参考 2025年の真夏日・猛暑日・熱帯夜(日最低気温25度以上)の年間日数の更新(順位3位以内)

地点名	要素	順位	日数	統計開始
新潟	日最高気温 35℃以上年間日数	2	15	1881 年
新潟	日最高気温 30℃以上年間日数	1	70	1881 年
相川	日最高気温 30℃以上年間日数	2	50	1911 年
相川	日最低気温 25℃以上年間日数	3	28	1911 年
高田	日最高気温 30℃以上年間日数	1	81	1922 年
高田	日最低気温 25℃以上年間日数	2	15	1922 年
富山	日最高気温 35℃以上年間日数	2	29	1939 年
富山	日最高気温 30℃以上年間日数	2	85	1939 年
富山	日最低気温 25℃以上年間日数	3	33	1939 年
伏木	日最高気温 35℃以上年間日数	1	24	1887 年
伏木	日最高気温 30℃以上年間日数	2	76	1887 年
伏木	日最低気温 25℃以上年間日数	3	34 =	1887 年
金沢	日最高気温 30℃以上年間日数	1	87	1882 年

金沢	日最低気温 25℃以上年間日数	3	50	1882 年
輪島	日最高気温 35℃以上年間日数	2	11	1929 年
輪島	日最高気温 30℃以上年間日数	1	73	1929 年
福井	日最高気温 35℃以上年間日数	1	37	1897 年
福井	日最高気温 30℃以上年間日数	1	93	1897 年
福井	日最低気温 25℃以上年間日数	2	45	1897 年
敦賀	日最高気温 30℃以上年間日数	1	89	1897 年
敦賀	日最低気温 25℃以上年間日数	1	62	1897 年

注) =はタイ記録を示す。

表 3 2025年の季節(3 か月) 別で順位を更新した記録(3 位以内) 注) =はタイ記録を示す。

3 か月平均気温の高い方からの順位更新

月	順位	地点名	平均気温 ℃	平年差 ℃	これまでの最高 ℃ (西暦年)	開始年	平年値 ℃
6-8	1	輪島	25.8	+2.3	25.7 (2023)	1929	23.5
		金沢	27.4	+2.5	27.1 (2023)	1882	24.9
		伏木	26.6	+2.4	26.4 (2023)	1884	24.2
		富山	27.1	+2.5	27.0 (2023)	1939	24.6
		高田	26.5	+2.4	26.2 (2023)	1922	24.1
		福井	27.5	+2.3	27.0 (2023)	1897	25.2
		敦賀	27.5	+2.1	26.9 (2023)	1898	25.4
	2	相川	25.5	+2.3	25.6 (2023)	1911	23.2
		新潟	26.3	+2.2	26.4 (2023)	1881	24.1
9-11	2	伏木	18.4	+1.4	19.1 (2024)	1885	17.0
		富山	18.4 =	+1.4	19.2 (2024)	1940	17.0
		福井	18.7	+1.5	19.8 (2024)	1898	17.2
		敦賀	19.8	+1.6	20.7 (2024)	1898	18.2
	3	輪島	17.8	+1.4	18.2 (2024)	1930	16.4
		相川	18.4	+1.2	18.8 (2023)	1912	17.2
		新潟	17.7 =	+1.1	18.4 (2024)	1882	16.6
		金沢	19.1	+1.6	19.6 (2024)	1883	17.5
		高田	17.6	+1.2	18.5 (2024)	1923	16.4

3 か月間の降水量多い方からの順位更新

月	順位	地点名	降水量 mm	平年比 %	これまでの最大 mm (西暦年)	開始年	平年値 mm
9-11	1	高田	1209.5	160	1192.2 (1964)	1923	753.9

3 か月日照時間の多い方からの順位更新

月	順位	地点名	日照時間 h	平年比 %	これまでの最大 h (西暦年)	開始年	平年値 h
6-8	2	金沢	763.6	140	787.8 (1939)	1891	545.6
		伏木	741.1	141	774.3 (1939)	1893	524.7
		富山	717.2	141	777.4 (1939)	1939	508.7
	3	輪島	746.0	143	820.9 (1939)	1929	523.1
		高田	729.5	148	733.5 (1946)	1922	491.6
		敦賀	722.5	146	780.8 (1939)	1914	495.1

表 4 2025年の月別で順位を更新した記録(3 位以内) 注) =はタイ記録を示す。

月平均気温高い方からの順位更新

月	順位	地点名	平均気温 ℃	平年差 ℃	これまでの最高 ℃ (西暦年)	開始年	平年値 ℃
3	3	輪島	7.7	+1.6	9.0 (2023)	1930	6.1
6	1	輪島	22.0	+2.0	21.9 (2023)	1929	20.0
		新潟	22.6	+1.7	22.4 (2005)	1882	20.9
		金沢	23.7	+2.1	23.4 (2022)	1882	21.6
		伏木	22.7 =	+1.9	22.7 (1916)	1884	20.8
		富山	23.4	+2.0	23.3 (2022)	1939	21.4
		高田	22.8	+1.9	22.7 (1979)	1922	20.9
		福井	23.9 =	+1.9	23.9 (1979)	1897	22.0
	2	相川	21.4 =	+1.6	21.9 (1916)	1911	19.8
		敦賀	23.8	+1.7	23.9 (1979)	1898	22.1
7	1	輪島	28.1	+3.7	26.7 (2018)	1929	24.4
		相川	27.5	+3.5	26.3 (2018)	1911	24.0
		新潟	28.6	+3.7	27.4 (2018)	1881	24.9
		金沢	29.4	+3.6	28.3 (2018)	1882	25.8
		伏木	28.6	+3.5	27.5 (2018)	1884	25.1
		富山	29.2	+3.7	28.1 (2018)	1939	25.5
		高田	28.7	+3.7	27.5 (2018)	1922	25.0
		福井	29.6	+3.5	28.7 (2018)	1897	26.1
		敦賀	29.6	+3.3	28.8 (2018)	1898	26.3
8	3	金沢	29.0 =	+1.7	30.5 (2023)	1882	27.3
9	2	敦賀	26.7 =	+3.0	27.6 (2024)	1898	23.7

	3	相川	24.8	+2.3	25.5 (2023)	1911	22.5
		金沢	26.1	+2.9	26.8 (2024)	1882	23.2
		伏木	25.3	+2.6	26.1 (2024)	1884	22.7
		富山	25.6	+2.8	26.2 (2024)	1939	22.8
		高田	24.6	+2.3	25.4 (2024)	1922	22.3
		福井	26.0	+2.9	27.1 (2024)	1897	23.1
10	2	伏木	18.5 =	+1.5	19.2 (2024)	1884	17.0
		福井	18.8 =	+1.7	19.7 (2024)	1897	17.1
		敦賀	19.8	+1.7	20.6 (2024)	1897	18.1
	3	輪島	17.9	+1.6	18.2 (2024)	1929	16.3
12	2	富山	7.5	+1.8	7.7 (1968)	1939	5.7

月降水量多い方からの順位更新

月	順位	地点名	降水量 mm	平年比 %	これまでの最大 mm (西暦年)	開始年	平年値 mm
8	1	輪島	515.5	292	512.0 (1968)	1929	176.8
		金沢	576.0	321	556.2 (1905)	1882	179.3
	2	新潟	434.5	266	616.0 (1998)	1881	163.4
9	1	新潟	380.5	250	377.5 (1897)	1881	151.9
	2	高田	445.0	216	551.9 (1964)	1922	205.8

月降水量少ない方からの順位更新

月	順位	地点名	降水量 mm	平年比 %	これまでの最小 mm (西暦年)	開始年	平年値 mm
7	1	輪島	1.5	1	6.5 (1978)	1929	199.6
		相川	0.0	0	2.7 (1943)	1911	207.3
		新潟	3.5	2	14.5 (1973)	1881	222.3
		伏木	13.0	6	20.6 (1886)	1884	223.8
		高田	0.5	0	23.5 (1994)	1922	206.8
	2	富山	31.5 =	13	29.5 (1994)	1939	245.6
		福井	23.5	10	16.8 (1942)	1897	239.8
	3	敦賀	44.0	22	8.4 (1939)	1898	204.0

月間日照時間多い方からの順位更新

月	順位	地点名	日照時間 h	平年比 %	これまでの最大 h (西暦年)	開始年	平年値 h
1	1	伏木	90.0	147	89.6 (1932)	1893	61.1
	2	金沢	92.5	148	94.0 (1932)	1891	62.3
		富山	93.6	137	97.3 (2014)	1939	68.1
		福井	101.0	154	103.5 (1909)	1898	65.4
	3	敦賀	98.9	158	100.9 (1979)	1914	62.6
7	1	輪島	319.9	202	298.0 (1939)	1929	158.3
		新潟	306.2	189	292.1 (1943)	1892	162.1
		金沢	307.7	184	289.4 (2018)	1891	167.2
		伏木	295.0	184	287.8 (2018)	1893	160.3
		高田	292.0	197	277.6 (2018)	1922	148.4
	2	相川	295.9	184	299.7 (1955)	1911	161.2
		敦賀	301.1	197	307.2 (1978)	1914	153.1
	3	富山	283.1	185	288.7 (2018)	1939	153.3
		福井	286.4	184	301.7 (1917)	1898	155.4
11	2	富山	141.6	135	153.3 (2022)	1939	105.1
12	3	伏木	102.8	154	107.1 (2008)	1893	66.8

(注) 1. 平年値とは1991～2020年の30年間の値を平均したものである。

2. 「階級」の記号の意味は以下のとおり。

+:高い(多い) ○:平年並 -:低い(少ない)

各階級の区分値は、1991～2020年における30年間の観測値をもとに、これらが等しい割合で各階級に振り分けられる(各階級が10個ずつになる)ように決めた。

また、値が1991～2020年の観測値の上位または下位10%に相当する場合には階級の「+」に * を付加した。この場合には以下のように表現できる。

かなり高い(多い) かなり低い(少ない)

3. 値の横に) や] がある場合には使用したデータに欠測等が含まれていることを示し、×は欠測を示す。

) 付きの値は正常の値とみなせますが、] 付きの値は欠測等が多いため正常な値と同等とはみなせません。

このため、統計日数(統計に用いた品質が十分な日数)を气象台等に確認して、品質を確かめてください。